

初めまして！ 大原ゆうき です。



芦屋生まれの31歳！



昭和59年(1984年)2月8日(30歳) 芦屋生まれ

1996年3月 シドニー日本人学校 卒

1999年3月 関西学院中学部 卒

2002年3月 関西学院高等部 卒

2006年3月 関西学院大学経済学部 卒

2006年4月 (株)経営情報センター 入社

※システムエンジニアとして様々な民間企業の業務システム導入を担当。

趣味・特技:歌(Live出演やインディーズのコンピレーションアルバム参加)

家族:父、母、弟2人

所属:維新の党 芦屋市政対策委員

後援会事務所:〒659-0051 芦屋市呉川町

TEL:070-5502-4708

Mail:info@oohara-yuuki.jp



私も推薦します！

前衆議院議員 はたなか光成



<http://oohara-yuuki.jp>

大原ゆうき

検索



大原 裕貴



@ooharayuuki

■ 財政の無駄づかい削減

- ・業務システム導入により、市役所業務の効率を上げることができます。業務効率の向上により費用の削減が期待できます。
- ・事務業務など、専門知識が不要な業務は、民間にアウトソーシングすることができます。それにより、人件費の削減が期待できます。

■ 議員活動の見える化

- ・現状の議員報酬や議員定数は適切なのか。削減が市民にとっての利益につながるのか。それを判断するためにも議員活動の見える化が必要です。
- ・市民に姿を見せ、議会報告を積極的に公開すること。ソーシャルメディアによる情報開示を24時間体制で行うこと。これらの対策で、活動はクリアになります。

■ 未来を担う人材の育成

- ・まんべんなく学力を上げ、平均点をあげたとしても、社会から見れば価値はそう変わりません。英語という1分野に特化させる方が効果もやすく、社会での価値も高まります。小学校と中学校を連携する、ネイティブ英語講師を市から派遣するなどの施策で英語教育の強化が期待できます。
- ・若い世代が安心して子育てできる環境を守らなければ、未来を担う子供たちが増えません。現在では希薄化がささやかれている地域コミュニティを活性化させることで、市・地域で若い親子を見守る体制をつくることができます。

■ 防災の強化

- ・来るべく大規模災害に備え、有事の際の警察・消防・自衛隊の役割分担を明確にしておく必要があります。そのために、自衛隊との連携を深め、自衛隊ができることとできないことを整理しておく必要があります。
- ・災害時には、正しい情報を迅速に伝達することが重要です。ICT分野の業務継続計画を策定することで、災害に強い情報システムを構築します。